

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

発行日:2023 年 1 月 24 日
前回改訂日:2023 年 1 月 24 日
最新改定日: 2023 年 5 月 12 日
版番号:第 2 版

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 化学物質等の名称

製品名	TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)
バッファー名	① 溶解バッファー (Lysis Buffer)
製品番号	Virapid Virus Auto Plate: 685A46, M685A46, W685A46 Virapid Virus Auto Tube: 685S46, M685S46, W685S66

1.2 化学物質等の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	試験研究用実験試薬
使用上の制限	専門ユーザー向け

1.3 提供者の詳細



供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽 1 丁目 4 番 14 号 後楽森ビル 18 階 電話番号:03-3813-0961 ファックス番号:03-3813-0962
供給者の緊急時連絡先	電話番号:03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前 9 時から午後 5 時 30 分) E メール:info@genetics-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

2.1 物質又は混合物の分類

本製品は、GHS*(化学品の分類及び表示に関する世界調和システム)に従って分類及びラベル表示されています。

2.2 GHS*ラベル要素

絵表示又はシンボル	  GHS02 GHS05
注意喚起語	危険

危険有害性情報	
物理的危険性	H226: 引火性の液体及び蒸気
健康有害性	H314: 重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
注意書き	
安全対策	P210: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 P235: 涼しいところに置くこと。 P260: 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置	P303+P361+P353+P310: 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。 P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

3. 組成及び成分情報

3.1 単一製品・混合物の区別 : 混合物

3.2 成分

混合物中の成分は、下記のとおりです。

	化学名	CAS*番号	濃度
危険有害性物質			
①	グアニジンチオシアナート (Guanidine thiocyanate)	593-84-0	20~30%
②	エタノール/エチルアルコール (Ethanol/Ethyl alcohol)	64-17-5	5~10%
③	エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物 (EDTA-Na ₂ ·2H ₂ O) (Ethylenediaminetetraacetic acid disodium salt dihydrate)	6381-92-6	<5%
非危険有害性物質(または、成分の濃度が低すぎて危険ではない物質)			
④	水 (Water)	7732-18-5	40%
⑤	トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン (2-Amino-2-(hydroxymethyl)propane-1,3-propanediol)	77-86-1	<1%

4. 応急措置

4.1 応急措置

一般的アドバイス	意識のない人には口から何も与えないこと。
	気分が悪い場合は、医師の診断を受けること (可能な場合は、ラベルを見せること)。
	すぐに医師に連絡すること。
暴露経路ごとの応急処置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態に保つこと。
	影響を受けた人が新鮮な空気を吸える様にする。
	被害者を休息させること。
眼に入った場合	すぐに大量の水で洗い流すこと。
	痛み、まばたき、充血が続く場合は、医師の診察を受けること。
	水で数分間注意深くすすぐこと。
	コンタクトレンズを装着していて、容易に外せる場合は外すこと。
	すすぎを続けること。
すぐに医師に連絡すること。	
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を脱ぎ、露出した全ての皮膚領域を刺激の少ない石鹸と水で洗浄し、ぬるま湯ですすぐこと。
	水/シャワーで皮膚を洗い流すこと。
	汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。
	すぐに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	直口をすすぐこと。
	嘔吐させないこと。
	緊急の医療処置を受けること。
	すぐに医師に連絡すること。

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤	泡消火剤、乾燥粉末消火剤、二酸化炭消火剤、水噴霧、砂
不適切な消火剤	強い水流を使用しないこと。

5.2 消防士用の特別な保護具と予防措置

保護具	呼吸用保護具を含む適切な保護具なしで火災区域に入らないこと。
	適切な保護具なしで行動しようとしなないこと。
	自給式空気呼吸器を着用すること。
	完全な防護服を着用すること。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

注意事項及び保護具	推奨される個人用保護具を着用すること。
	詳細については、項目 8 の【暴露防止及び人に対する保護措置】を参照すること。
緊急時措置	漏出区域を換気すること。
	不要な人員を退避させること。
	裸火禁止、火花禁止、禁煙
	皮膚や目に触れない様にする事。
	粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

6.2 清掃・回収対策

清掃・回収対策	漏出した液体を吸収剤で回収すること。
	漏出したものは、できるだけ早く粘土や珪藻土等の不活性固形物で回収すること。
	漏出したものを回収すること。
	他の物質から離して保管すること。
	製品が下水や公共の水域に入った場合は、当局に連絡すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための注意事項

安全な取扱い	作業場の換気を良くすること。
	蒸気の発生を防ぐため、作業区域の換気を十分に行うこと。
	熱、高温面、火花、裸火、およびその他の発火源から遠ざけること。
	喫煙禁止
	コンテナと受入機器を接地/結合すること。
	火花を発生させないツールのみを使用すること。
	静電気放電に対する予防措置を講じること。
	可燃性蒸気が容器内に蓄積する可能性がある。
	防爆型の装置を使用すること。
	個人用保護具を着用すること。
	皮膚や目に触れないようにすること。
	粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

7.2 混触危険性を含む安全な保管条件

技術的対策	コンテナと受入機器を接地/結合すること。
保管条件	容器を密閉して、涼しく換気の良い場所に保管すること。
	使用しない時は、容器を閉じて保管すること。
	換気の良い場所に保管すること。
	冷しい所で保管すること。
	容器は、密閉して保管すること。
	施錠して保管すること。

8. 暴露防止及び人に対する保護措置

8.1 個人用保護衣などの個人保護措置

個人用保護具	安全メガネ、手袋
防護具の素材	良い耐性を与えるもの:ゴム、プラスチック
眼/顔面の保護	フェイスシールドを着用すること。
手の保護	保護手袋を着用すること。
皮膚及び身体の保護	保護衣を着用すること。
呼吸器の保護	ミスト形成:エアロゾルマスクを着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質の情報

性状(物理的状态)	液体
色(溶液)	無色
臭い	データなし
融点/凝固点(軟化温度/範囲)	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
引火点	データなし
可燃性(個体、気体)	可燃性液体及び気体
自動発火温度	データなし
爆発性	データなし
爆発範囲の上限/可燃上限値	データなし
爆発範囲の下限/可燃下限値	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
相対密度	データなし
比重(密度)	データなし
水への溶解度/水との混和性	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
粘度(粘性率)	データなし
動粘度	データなし
VOC*含有量	データなし
pH 値	データなし

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

10. 安定性及び反応性

反応性	可燃性の液体及び蒸気
化学的安定性	通常取り扱い及び保管条件下では安定している。
危険有害反応の可能性	通常の使用条件下では、危険な反応は報告されていない。 危険な重合反応は、起こらない。
避けるべき条件	推奨される保管及び取り扱い条件下ではなし(項目 7 を参照)。 高温面との接触を避けること。 加熱を避けること。 炎及び火花を避けること。 全ての発火源を避けること。
混触危険物質/混触禁止物質	追加情報はない。
危険有害性のある分解生成物	通常保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成さない。

11. 有害性情報

11.1 有害性情報

	暴露経路	急性毒性推定値	
急性毒性	溶解バッファー (Lysis Buffer)		
	暴露経路:経口 LD ₅₀ * (-)	分類されていない。	
	暴露経路:経皮 LD ₅₀ * (-)	分類されていない。	
	暴露経路:吸入 LD ₅₀ * (-)	分類されていない。	
	① グアニジンチオシアナート (CAS 番号:593-84-0)		
	暴露経路:経口 LD ₅₀ * (ラット)	593 mg/kg (OECD Test Guideline 401)	
	暴露経路:経皮 LD ₅₀ * (-)	データなし	
	暴露経路:気体 LC ₅₀ * (-)	データなし	
	暴露経路:蒸気 LC ₅₀ * (-)	データなし	
	暴露経路:吸入/粉塵及びミスト LC ₅₀ * (ラット)	1.6 mg/L/4h	
	② エタノール/エチルアルコール (CAS 番号:64-17-5)		
	暴露経路:経口 LD ₅₀ * (ラット)	7060 mg/kg	
	暴露経路:経皮 LD ₅₀ * (ウサギ)	15800 mg/kg	
	暴露経路:気体 LC ₅₀ * (-)	データなし	
	暴露経路:蒸気 LC ₅₀ * (-)	データなし	
暴露経路:粉塵及びミスト LC ₅₀ * (-)	データなし		
皮膚腐食性/刺激性	データなし		
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし		
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし		
CMR 効果(生殖細胞に対する発がん性、変異原性、毒性)	データなし		
発がん性	データなし		
生殖毒性	データなし		
特定標的臓器毒性(単回暴露)	データなし		
特定標的臓器毒性(反復暴露)	データなし		
吸引性呼吸器有害性(誤嚥の危険性)	データなし		

11.2 可能性のある暴露経路の情報

一次刺激作用	皮膚に付着した場合:重度の皮膚熱傷を引き起こす。 眼に入った場合:深刻な眼の損傷を引き起こす。
--------	--

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

溶解バッファー (Lysis Buffer)	
短期的(急性)水生環境有害性	分類されていない (入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)。
長期的(慢性)水生環境有害性	分類されていない (入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)。
① グアニジンチオシアナート (Guanidine thiocyanate)	
短期的(急性)水生環境有害性	LC ₅₀ (半数致死濃度): 5560~6080 mg/L (曝露時間:96 時間、試験対象生物:魚類、種:ブルーギル[フロースルー])
	LC ₅₀ (半数致死濃度): 12946 mg/L (曝露時間:96 時間、試験対象生物:魚類、種:ブルーギル[静的])
	EC ₅₀ (半数影響濃度): 1000 mg/L (曝露時間:48 時間、試験対象生物:甲殻類、種:オオミジンコ)
	EC ₅₀ (半数影響濃度): 340.7~469.2 mg/L (曝露時間:48 時間、試験対象生物:甲殻類、種:オオミジンコ[静的])
長期的(慢性)水生環境有害性	EC ₅₀ (半数影響濃度): 4136 mg/L (試験対象生物:甲殻類、種:ミジンコ)
	EC ₅₀ (半数影響濃度): 2430 mg/L (試験対象生物:その他の水生生物)
	LOEC(最小影響濃度/慢性): 441 mg/L (試験対象生物:甲殻類、種:オオミジンコ、期間:21 日)
	NOEC(無影響濃度/慢性): 314 mg/L (試験対象生物:甲殻類、種:オオミジンコ、期間:21 日)
② エタノール/エチルアルコール (CAS 番号:64-17-5)	
短期的(急性)水生環境有害性	LC ₅₀ (半数致死濃度): >100 mg/L (曝露時間:96 時間、試験対象生物:魚類、種:ファットヘッドミノール[静的])
	LC ₅₀ (半数致死濃度): 5012 mg/L (曝露時間:48 時間、試験対象生物:甲殻類、種:オオミジンコ)
	EC ₅₀ (半数影響濃度): 9268~14221 mg/L (曝露時間:48 時間、試験対象生物:甲殻類、種:オオミジンコ)
長期的(慢性)水生環境有害性	EC ₅₀ (半数影響濃度): 5012 mg/L (試験対象生物:甲殻類、種:ミジンコ)
	EC ₅₀ (半数影響濃度): 275 mg/L (試験対象生物:その他の水生生物)
	ErC ₅₀ (72 時間比成長値): 275 mg/L (試験対象生物:藻類; 出典: ECHA)
	ErC ₅₀ (72 時間比成長値): 4432 mg/L (試験対象生物:その他の水草)

12.2 残留性と分解性

残留性と分解性	データなし
---------	-------

12.3 環境システムにおける挙動

生物蓄積性	データなし
	エチルアルコール(64-17-5):n-オクタノール/水分配係数(Log Pow)=-0.32

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性	追加的な関連情報なし
---------	------------

12.5 他の生態学的情報

一般的な注意事項	環境への放出を避ける
----------	------------

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品及び残余廃棄物	内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに業務を委託して処理すること。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 空容器を廃棄する場合は、水、必要に応じて洗浄剤を使用して内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

14.1 国際規制

ADR*, IMO*/IMDG*, ICAO*/IATA DGR*の規定に従うこと。	
国連番号 (UN Number)	1170
国連出荷正式名(国連出荷名) (UN Proper Shipping Name)	ETHANOL
国連分類 (輸送時の危険有害性クラス) (UN Transport Hazard Class)	3
容器等級 (Packing Group)	II
環境への危険性	危険物として規制されていない。
ユーザー向け特別注意事項	危険物として規制されていない。

14.2 国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従うこと。
航空規制情報	航空法の規定に従うこと。
陸上規制情報	毒物及び劇物取締法、消防法、高圧ガス保安法、道路法の規定に従うこと。

14.3 MARPOL 73/78* 付属書 II 及び IBC Code*によるバラ積み輸送される液体物質：本製品には該当しない。

15. 適用法令

① 化学物質名:グアニジンチオシアナート (Guanidine thiocyanate) (CAS*番号:593-84-0、濃度:20~30%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

② エタノール/エチルアルコール (Ethanol/Ethyl alcohol) (CAS*番号:64-17-5、濃度:5~10%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	危険物・引火性の物 名称等を表示すべき危険物及び有害物 名称等を通知すべき危険物及び有害物
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	引火性液体類
航空法	引火性液体
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	揮発性有機化合物
海洋汚染防止法	有害液体物質(2類物質)
悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
化学兵器禁止法	有機化学物質
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

③ 化学物質名:エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム二水和物 (CAS*番号:6381-92-6、濃度:<5%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	第1種指定化学物質
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

④ 化学物質名:水 (Water) (CAS*番号:7732-18-5、濃度:40%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	有害でない物質
悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

⑤ 化学物質名:トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン (CAS*番号:77-86-1、濃度:<1%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

16. その他の情報

弊社が販売する試薬類は、試験研究用途向けに限定して販売しております。製品を取り扱う前に取扱説明書等を熟読し、専門知識のある技術者、研究者がご使用ください。記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですが、特別な扱いをする場合には、新たに用途用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。

略語

- ADR(European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road): 欧州危険物国際道路輸送協定
- CAS(Chemical Abstract Service): ケミカル・アブストラクト・サービス
- GHS(The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals): 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
- IATA DGR(International Air Transport Association's Dangerous Goods Regulations): 国際航空運送協会危険物規則書
- IBC Code(International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Danderous Chemicals in Bulk): 危険化学品のバラ積み運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則
- ICAO(International Civil Aviation Organization): 国際民間航空機関
- IMDG Code(International Maritime Code for Dangerous Goods): 国際海上危険物規定で定めたコード
- IMO(International Maritime Organization): 国際海事機構
- LC₅₀(Median/50% Lethal Concentration): 半数(50%)致死濃度
- LD₅₀(Median/50% Lethal Dose): 半数(50%)致死量
- MARPOL(International Convention for the Prevention of Pollution from Ships) 73/78: 1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978の議定書
- VOC(Volatile Organic Compounds): 揮発性有機化合物

引用文献及び参照ホームページ等

- 化学物質規制・管理実務便覧(化学物質管理実務研究会編集、新日本法規出版株式会社出版)
- NITE 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/srhInput
- 職場の安全サイト(厚生労働省)
http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx
- ezCRIC(日本ケミカルデータベース株式会社)

以上

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 化学物質等の名称

製品名	TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)
バッファー名	② 洗浄バッファー2 (Washing Buffer 2)
製品番号	Virapid Virus Auto Plate: 685A46, M685A46, W685A46 Virapid Virus Auto Tube: 685S46, M685S46, W685S66

1.2 化学物質等の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	試験研究用実験試薬
使用上の制限	専門ユーザー向け

1.3 提供者の詳細



供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル18階 電話番号:03-3813-0961 ファックス番号:03-3813-0962
供給者の緊急時連絡先	電話番号:03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時30分) Eメール:info@genetics-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

2.1 物質又は混合物の分類

本製品は、GHS*(化学品の分類及び表示に関する世界調和システム)に従って分類及びラベル表示されています。

2.2 GHS*ラベル要素

絵表示又はシンボル	  GHS02 GHS07
注意喚起語	危険

危険有害性情報	
物理的危険性	H225: 引火性の高い液体及び蒸気
健康有害性	H319: 強い眼刺激
注意書き	
安全対策	P210: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
	P233: 容器を密閉しておくこと。
	P240: 容器を接地しアースをとること。
	P241: 防爆型の【電気機器/換気装置/照明機器】を使用すること。
	P242: 火花を発生させない工具を使用すること。
	P243: 静電気放電に対する措置を講ずること。
	P264: 取扱後は、皮膚をよく洗うこと。
P280: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。	

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

応急措置	P303+P361+P353: 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
	P305+P351+P338: 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P337+P313: 眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。
	P370 + P378 - 火災の場合: 乾いた砂、粉末消火剤、または耐アルコール性泡消火剤を使用して消火すること。

2.3 GHS*分類に該当しない他の危険有害性: 通常の状態ではなし。

3. 組成及び成分情報

3.1 単一製品・混合物の区別 : 混合物

3.2 成分

混合物中の成分は、下記のとおりです。

	化学名	CAS* 番号	濃度
危険有害性物質			
①	エタノール/エチルアルコール (Ethanol/Ethyl alcohol)	64-17-5	20~30%
非危険有害性物質(または、成分の濃度が低すぎて危険ではない物質)			
②	水 (Water)	7732-18-5	70~80%

4. 応急措置

4.1 応急措置

一般的アドバイス	この製品安全データシートを主治医に提示すること。
暴露経路ごとの応急処置	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態に保つこと。
	影響を受けた人が新鮮な空気を吸える様にする。
	被害者を休息させること。
眼に入った場合	すぐに大量の水で洗い流すこと。
	痛み、まばたき、充血が続く場合は、医師の診察を受けること。
	水で数分間注意深くすすぐこと。
	コンタクトレンズを装着していて、容易に外せる場合は外すこと。
	すすぎを続けること。
	すぐに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を脱ぎ、露出した全ての皮膚領域を刺激の少ない石鹸と水で洗浄し、ぬるま湯ですすぐこと。
	水/シャワーで皮膚を洗い流すこと。
	汚染された衣類を直ちに脱ぐこと。
	すぐに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。
	すぐに被害者に水を飲ませること。(せいぜいグラス2杯)
	医師に相談すること。

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤	水噴霧、泡消火剤、二酸化炭素消火剤、乾燥粉末消火剤
不適切な消火剤	この物質/混合物には、消火剤の制限はありません。

5.2 化学物質等から生じる特有の危険有害性

火災時特有の危険有害性	可燃性の一酸化炭素に注意すること。
	フラッシュオーバーに注意すること。
	蒸気は空気より重く、床に沿って広がる可能性がある。
	火災時に危険な燃焼ガスまたは蒸気が発生する可能性がある。
	周囲温度で空気との爆発性混合物が形成される。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

非緊急要員へのアドバイス	蒸気、エアロゾルを吸い込まないこと。
	物質との接触を避けること。
	十分な換気を確保すること。
	熱や着火源から遠ざかること。
	危険区域から避難し、緊急時の手順に従い専門家に相談すること。
	個人保護については、項目8. を参照すること。

6.2 環境に関する注意事項:

環境保護への取り組み	製品を排水溝に流出させないこと。
	爆発の危険性がある。

6.3 清掃・回収対策

清掃・回収対策	排水口を密閉すること。
	漏出物を収集、集積して、ポンプで排出すること。
	可能な材料制限を順守すること。(項目7. 及び項目10. を参照)
	液体吸収材で回収すること。
	適切に廃棄すること。
	汚染された区域を清浄すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための注意事項

安全な取扱い	裸火、高温面及び着火源から遠ざけること。
	静電気放電に対する予防措置を講じること。

7.2 混触危険性を含む安全な保管条件

保管条件	乾燥した換気の良い場所で容器を密閉して保管すること。
	熱や着火源から遠ざけること。
	保管クラス(TRGS 510*) 3:可燃性の液体

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

8. 暴露防止及び人に対する保護措置

8.1 個人用保護衣などの個人保護措置

個人用保護具	安全メガネ、手袋を着用すること。
防護具の素材	良い耐性を与えるもの:ゴム、プラスチック
手の保護	保護手袋を着用すること。
眼/顔面の保護	フェイスシールドを着用すること。
皮膚及び身体の保護	保護衣を着用すること。
呼吸器の保護	ミスト形成:エアロゾルマスクを着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質の情報

性状(物理的状態)	液体
色(溶液)	無色
臭い	刺激性
臭いの閾値	0.1ppm
融点/凝固点(軟化温度/範囲)	-115°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	78°C。
引火点	25°C(ASTM* D93-13)
臨界温度	243°C
自動発火温度	363°C
可燃性(個体、気体)	可燃性の液体及び蒸気
爆発性	データなし
爆発範囲の上限/可燃上限値	データなし
爆発範囲の下限/可燃下限値	データなし
蒸気圧	データなし
相対蒸気密度	データなし
相対密度	データなし
20°Cでの比重(密度)	データなし
水への溶解度/水との混和性	データなし
n-オクタノール/水分配係数	データなし
粘度(粘性率)	データなし
動粘度	データなし
pH 値	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	<p>燃焼すると、一酸化炭素と二酸化炭素が生成される。</p> <p>多くの化合物と激しく反応する。例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・強力な酸化剤の使用 ・火災/爆発のリスク増大 <p>(特定の)酸と爆発的な激しい反応を起こす。</p>
化学的安定性	吸湿性
危険有害反応の可能性	<p>通常の使用条件下では、危険な反応は報告されていない。</p> <p>危険な重合反応は、起こらない。</p>
避けるべき条件	直射日光、極端な高温または低温、直火
混触危険物質/混触禁止物質	強酸及び強塩基
危険有害性のある分解生成物	ヒューム、一酸化炭素、二酸化炭素、可燃性ガスを放出する可能性がある。

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

11. 有害性情報

11.1 有害性情報

急性毒性	暴露経路	急性毒性推定値
	洗浄バッファー2 (Washing Buffer 2)	
	暴露経路:経口 LD ₅₀ * (-)	分類されていない。
	暴露経路:経皮 LD ₅₀ * (-)	分類されていない。
	暴露経路:吸入 LD ₅₀ * (-)	分類されていない。
	① エタノール/エチルアルコール (CAS 番号:64-17-5)	
	暴露経路:経口 LD ₅₀ * (ラット)	7060 mg/kg
	暴露経路:経皮 LD ₅₀ * (ウサギ)	15800 mg/kg
	暴露経路:気体 LC ₅₀ * (-)	データなし
	暴露経路:蒸気 LC ₅₀ * (-)	データなし
	暴露経路:粉塵及びミスト LC ₅₀ * (-)	データなし
皮膚腐食性/刺激性	データなし	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし	
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし	
CMR 効果(生殖細胞に対する発がん性、変異原性、毒性)	データなし	
発がん性	データなし	
生殖毒性	データなし	
特定標的臓器毒性(単回暴露)	データなし	
特定標的臓器毒性(反復暴露)	データなし	
吸引力呼吸器有害性(誤嚥の危険性)	データなし	

11.2 可能性のある暴露経路の情報

一次刺激作用	皮膚に付着した場合:重度の皮膚刺激を引き起こす。
	眼に入った場合:深刻な眼の刺激を引き起こす。

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

溶解バッファー (Lysis Buffer)	
短期的(急性)水生環境有害性	分類されていない (入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)。
長期的(慢性)水生環境有害性	分類されていない (入手可能なデータに基づくと、分類基準を満たしていない)。
① エタノール/エチルアルコール (CAS 番号:64-17-5)	
短期的(急性)水生環境有害性	LC ₅₀ (半数致死濃度): >100 mg/L (曝露時間:96 時間、試験対象生物:魚類、種:ファットヘッドミノー[静的])
	LC ₅₀ (半数致死濃度): 5012 mg/L (曝露時間:48 時間、試験対象生物:甲殻類、種:オオミジンコ)
	EC ₅₀ (半数影響濃度): 9268~14221 mg/L (曝露時間:48 時間、試験対象生物:甲殻類、種:オオミジンコ)
長期的(慢性)水生環境有害性	EC ₅₀ (半数影響濃度): 5012 mg/L (試験対象生物:甲殻類、種:ミジンコ)
	EC ₅₀ (半数影響濃度): 275 mg/L (試験対象生物:その他の水生生物)
	ErC ₅₀ (72 時間比成長値): 275 mg/L (試験対象生物:藻類、出典: ECHA)
	ErC ₅₀ (72 時間比成長値): 4432 mg/L (試験対象生物:その他の水草)

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

12.2 残留性と分解性

残留性と分解性	水中で容易に生分解される。
	土壌中で生分解される。

12.3 環境システムにおける挙動

生物蓄積性	生物蓄積の可能性が低い。(Log Kow < 4)
	エチルアルコール(64-17-5):n-オクタノール/水分配係数(Log Pow)=-0.32

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性	追加的な関連情報なし
---------	------------

12.5 他の生態学的情報

一般的な注意事項	環境への放出を避ける
----------	------------

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品及び残余廃棄物	内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに業務を委託して処理すること。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 空容器を廃棄する場合は、水、必要に応じて洗浄剤を使用して内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

14.1 国際規制

ADR*, IMO*/IMDG*, ICAO*/IATA DGR*の規定に従うこと。	
国連番号 (UN Number)	1170
国連出荷正式名(国連出荷名) (UN Proper Shipping Name)	ETHANOL
国連分類 (輸送時の危険有害性クラス) (UN Transport Hazard Class)	3
容器等級 (Packing Group)	II
環境への危険性	危険物として規制されていない。
ユーザー向け特別注意事項	危険物として規制されていない。

14.2 国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従うこと。
航空規制情報	航空法の規定に従うこと。
陸上規制情報	毒物及び劇物取締法、消防法、高圧ガス保安法、道路法の規定に従うこと。

14.3 MARPOL 73/78* 付属書 II 及び IBC Code*によるバラ積み輸送される液体物質 : 本製品には該当しない。

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

15. 適用法令

① 化学物質名:エタノール/エチルアルコール (Ethanol/Ethyl alcohol) (CAS*番号:64-17-5、濃度:20~30%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	危険物・引火性の物 名称等を表示すべき危険物及び有害物 名称等を通知すべき危険物及び有害物
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高压ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	引火性液体類
航空法	引火性液体
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	揮発性有機化合物
海洋汚染防止法	有害液体物質(Z類物質)
悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
化学兵器禁止法	有機化学物質
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

② 化学物質名:水 (Water) (CAS*番号:7732-18-5、濃度:70~80%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高压ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	有害でない物質
悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

16. その他の情報

弊社が販売する試薬類は、試験研究用途向けに限定して販売しております。製品を取り扱う前に取扱説明書等を熟読し、専門知識のある技術者、研究者がご使用ください。記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですが、特別な扱いをする場合には、新たに用途用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。

略語

- ADR(European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road): 欧州危険物国際道路輸送協定
- ASTM(American Society of Testing and Material): 米国材料試験協会
- CAS(Chemical Abstract Service): ケミカル・アブストラクト・サービス
- GHS(The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals): 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
- IATA DGR(International Air Transport Association's Dangerous Goods Regulations): 国際航空運送協会危険物規則書
- IBC Code(International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Dangerous Chemicals in Bulk): 危険化学品のバラ積み運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則
- ICAO(International Civil Aviation Organization): 国際民間航空機関
- IMDG Code(International Maritime Code for Dangerous Goods): 国際海上危険物規定で定めたコード
- IMO(International Maritime Organization): 国際海事機構
- LC₅₀(Median/50% Lethal Concentration): 半数(50%)致死濃度
- LD₅₀(Median/50% Lethal Dose): 半数(50%)致死量
- MARPOL (International Convention for the Prevention of Pollution from Ships) 73/78: 1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978の議定書
- TRGS 510(Technical Rule for Hazardous Substances 510): ドイツ危険物質 510 のためのテクニカル規則

引用文献及び参照ホームページ等

- 化学物質規制・管理実務便覧(化学物質管理実務研究会編集、新日本法規出版株式会社出版)
- NITE 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/srhInput
- 職場の安全サイト(厚生労働省)
http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx
- ezCRIC(日本ケミカルデータベース株式会社)

以上

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 化学物質等の名称

製品名	TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)
バッファー名	③ 磁気ビーズ (Magnetic Beads)
製品番号	Virapid Virus Auto Plate: 685A46, M685A46, W685A46 Virapid Virus Auto Tube: 685S46, M685S46, W685S66

1.2 化学物質等の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	試験研究用実験試薬
使用上の制限	専門ユーザー向け

1.3 提供者の詳細

供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽 1 丁目 4 番 14 号 後楽森ビル 18 階 電話番号:03-3813-0961 ファックス番号:03-3813-0962
供給者の緊急時連絡先	電話番号:03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前 9 時から午後 5 時 30 分) Eメール:info@genetics-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

2.1 物質又は混合物の分類

本製品は、GHS*(化学品の分類及び表示に関する世界調和システム)に従って危険有害物質として分類されていない。

2.2 GHS*ラベル要素

絵表示又はシンボル	GHS 分類基準に該当しない。
注意喚起語	なし
危険有害性情報	特になし
注意書き	特になし

2.3 GHS*分類に該当しない他の危険有害性:知見なし。

3. 組成及び成分情報

3.1 単一製品・混合物の区別 : 混合物

3.2 成分

	化学名	CAS*番号	濃度
危険有害性物質	なし	—	—
非危険有害性物質(または、成分の濃度が低すぎて危険ではない物質)			
①	水 (Water)	7732-18-5	90~95%
②	酸化鉄 (Fe ₃ O ₄) (Ferric ferrous oxide)	1317-61-9	<3%
③	二酸化ケイ素 (非晶質シリカ) (SiO ₂) (Silicon dioxide)	7631-86-9	<1%

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

4. 応急措置

4.1 応急措置

一般的アドバイス	この製品安全データシートを主治医に提示すること。
暴露経路ごとの応急処置	
吸入した場合	呼吸がない場合は、人工呼吸を行うこと。
眼に入った場合	すぐに大量の水で洗い流すこと。
	痛み、まばたき、充血が続く場合は、医師の診察を受けること。
	水で数分間注意深くすすぐこと。
	コンタクトレンズを装着していて、容易に外せる場合は外すこと。
	すすぎを続けること。
すぐに医師に連絡すること。	
皮膚に付着した場合	特になし
飲み込んだ場合	特になし

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤	現地の状況と周囲の環境に適した消火手段を使用すること。
不適切な消火剤	データなし

5.2 化学物質等から生じる特有の危険有害性

火災時特有の危険有害性	データなし
-------------	-------

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

非緊急要員へのアドバイス	データなし
--------------	-------

6.2 環境に関する注意事項:

環境保護への取り組み	データなし
------------	-------

6.3 清掃・回収対策

清掃・回収対策	吸収性のある素材(布、フリースなど)で拭き取ること。
---------	----------------------------

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための注意事項

安全な取扱い	データなし
--------	-------

7.2 混触危険性を含む安全な保管条件

保管条件	特別な保管条件は必要なし。
------	---------------

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

8. 暴露防止及び人に対する保護措置

8.1 個人用保護衣などの個人保護措置

手の保護	手袋で取り扱うこと。 手袋は、使用前に検査する必要がある。 この製品が皮膚に触れないように、適切な手袋の取り外し方法を使用して(手袋の外面に触れずに)行うこと。 使用後の汚染された手袋は、適用される法律及び GLP(優良試験所基準)に従って廃棄すること。 手を洗って乾かすこと。
眼/顔面の保護	特になし
皮膚及び身体の保護	特になし
呼吸器の保護	特になし

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質の情報

性状(物理的状态)	液体
色(溶液)	無色
臭い	データなし
臭いの閾値	データなし
融点/凝固点(軟化温度/範囲)	0°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	100°C。
引火点	データなし
臨界温度	データなし
自動発火温度	データなし
可燃性(個体、気体)	データなし
爆発性	データなし
爆発範囲の上限/可燃上限値	データなし
爆発範囲の下限/可燃下限値	データなし
蒸気圧	データなし
相対蒸気密度	データなし
相対密度	データなし
20°Cでの比重(密度)	データなし
水への溶解度/水との混和性	データなし
n-オクタノール/水分係数	データなし
粘度(粘性率)	データなし
動粘度	データなし
pH 値	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	データなし
危険有害反応の可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質/混触禁止物質	データなし
危険有害性のある分解生成物	データなし

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

11. 有害性情報

11.1 有害性情報

急性毒性	暴露経路	急性毒性推定値
	暴露経路:経口 LD ₅₀ * (ラット)	>90000 mg/kg
	暴露経路:経皮 LD ₅₀ * (-)	データなし
	暴露経路:気体 LC ₅₀ * (-)	データなし
	暴露経路:蒸気 LC ₅₀ * (-)	データなし
	暴露経路:粉塵及びミスト LC ₅₀ * (-)	データなし
皮膚腐食性/刺激性	データなし	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし	
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし	
CMR 効果(生殖細胞に対する発がん性、変異原性、毒性)	データなし	
発がん性	データなし	
生殖毒性	データなし	
特定標的臓器毒性(単回暴露)	データなし	
特定標的臓器毒性(反復暴露)	データなし	
吸引力呼吸器有害性(誤嚥の危険性)	データなし	

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

短期的(急性)水生環境有害性	データなし
長期的(慢性)水生環境有害性	データなし

12.2 残留性と分解性

残留性と分解性	データなし
---------	-------

12.3 環境システムにおける挙動

生物蓄積性	データなし
-------	-------

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性	データなし
---------	-------

12.5 他の生態学的情報

一般的な注意事項	データなし
----------	-------

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品及び残余廃棄物	内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに業務を委託して処理すること。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 空容器を廃棄する場合は、水、必要に応じて洗浄剤を使用して内容物を完全に除去すること。

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

14. 輸送上の注意

14.1 国際規制

ADR*, IMO*/IMDG*, ICAO*/IATA DGR*の規定に従うこと。	
国連番号 (UN Number)	危険物として規制されていない。
国連出荷正式名(国連出荷名) (UN Proper Shipping Name)	危険物として規制されていない。
国連分類 (輸送時の危険有害性クラス) (UN Transport Hazard Class)	危険物として規制されていない。
容器等級 (Packing Group)	危険物として規制されていない。
環境への危険性	危険物として規制されていない。
ユーザー向け特別注意事項	危険物として規制されていない。

14.2 国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従うこと。
航空規制情報	航空法の規定に従うこと。
陸上規制情報	毒物及び劇物取締法、消防法、高圧ガス保安法、道路法の規定に従うこと。

14.3 MARPOL 73/78* 付属書 II 及び IBC Code*によるバラ積み輸送される液体物質：本製品には該当しない。

15. 適用法令

① 化学物質名:水 (Water) (CAS*番号:7732-18-5、濃度:90~95%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	有害でない物質
悪臭防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

② 化学物質名:酸化鉄 (Fe₃O₄) (Ferric ferrous oxide) (CAS*番号:1317-61-9、濃度:<3%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	指定物質
下水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
悪臭防止法	非該当
土壤汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

③ 化学物質名:二酸化ケイ素 (非晶質シリカ) (SiO₂) (Silicon dioxide) (CAS*番号:7631-86-9、濃度:<1%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	有害でない物質
悪臭防止法	非該当
土壤汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

16. その他の情報

弊社が販売する試薬類は、試験研究用途向けに限定して販売しております。製品を取り扱う前に取扱説明書等を熟読し、専門知識のある技術者、研究者がご使用ください。記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですが、特別な扱いをする場合には、新たに用途用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。

略語

- ・ADR(European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road): 欧州危険物国際道路輸送協定
- ・CAS(Chemical Abstract Service): ケミカル・アブストラクト・サービス
- ・GHS(The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals): 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
- ・IATA DGR(International Air Transport Association's Dangerous Goods Regulations): 国際航空運送協会危険物規則書
- ・IBC Code(International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Dangerous Chemicals in Bulk): 危険化学品のバラ積み運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則
- ・ICAO(International Civil Aviation Organization): 国際民間航空機関
- ・IMDG Code(International Maritime Code for Dangerous Goods): 国際海上危険物規定で定めたコード
- ・IMO(International Maritime Organization): 国際海事機構
- ・LC₅₀(Median/50% Lethal Concentration): 半数(50%)致死濃度
- ・LD₅₀(Median/50% Lethal Dose): 半数(50%)致死量
- ・MARPOL (International Convention for the Prevention of Pollution from Ships) 73/78: 1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978の議定書

引用文献及び参照ホームページ等

- ・化学物質規制・管理実務便覧(化学物質管理実務研究会編集、新日本法規出版株式会社出版)
- ・NITE 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/srhInput
- ・職場の安全サイト(厚生労働省)
http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx
- ・ezCRIC(日本ケミカルデータベース株式会社)

以上

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

1. 化学物質等及び会社情報

1.1 化学物質等の名称

製品名	TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)
バッファー名	④ 溶出バッファー (Elution Buffer)
製品番号	Virapid Virus Auto Plate: 685A46, M685A46, W685A46 Virapid Virus Auto Tube: 685S46, M685S46, W685S66

1.2 化学物質等の推奨用途及び使用上の制限

推奨用途	試験研究用実験試薬
使用上の制限	専門ユーザー向け

1.3 提供者の詳細

供給者の会社情報	日本ジェネティクス株式会社 〒112-0004 東京都文京区後楽1丁目4番14号 後楽森ビル18階 電話番号:03-3813-0961 ファックス番号:03-3813-0962
供給者の緊急時連絡先	電話番号:03-3813-0961 (祝祭日を除く、月曜日から金曜日の午前9時から午後5時30分) Eメール:info@genetics-n.co.jp

2. 危険有害性の要約

2.1 物質又は混合物の分類

本製品は、GHS*(化学品の分類及び表示に関する世界調和システム)に従って危険有害物質として分類されていない。

2.2 GHS*ラベル要素

絵表示又はシンボル	GHS*分類基準に該当しない。
注意喚起語	なし
危険有害性情報	特になし
注意書き	特になし

2.3 GHS*分類に該当しない他の危険有害性:知見なし。

3. 組成及び成分情報

3.1 単一製品・混合物の区別 : 混合物

3.2 成分

	化学名	CAS*番号	濃度
危険有害性物質			
	なし	—	—
非危険有害性物質(または、成分の濃度が低すぎて危険ではない物質)			
①	水 (Water)	7732-18-5	—
②	トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン (2-Amino-2-(hydroxymethyl)propane-1,3-propanediol)	77-86-1	—

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

4. 応急措置

4.1 応急措置

一般的アドバイス	この製品安全データシートを主治医に提示すること。
暴露経路ごとの応急処置	
吸入した場合	呼吸がない場合は、人工呼吸を行うこと。
眼に入った場合	すぐに大量の水で洗い流すこと。
	痛み、まばたき、充血が続く場合は、医師の診察を受けること。
	水で数分間注意深くすすぐこと。
	コンタクトレンズを装着していて、容易に外せる場合は外すこと。
	すすぎを続けること。
すぐに医師に連絡すること。	
皮膚に付着した場合	特になし
飲み込んだ場合	特になし

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤	現地の状況と周囲の環境に適した消火手段を使用すること。
不適切な消火剤	データなし

5.2 化学物質等から生じる特有の危険有害性

火災時特有の危険有害性	データなし
-------------	-------

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

非緊急要員へのアドバイス	データなし
--------------	-------

6.2 環境に関する注意事項:

環境保護への取り組み	データなし
------------	-------

6.3 清掃・回収対策

清掃・回収対策	吸収性のある素材(布、フリースなど)で拭き取ること。
---------	----------------------------

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための注意事項

安全な取扱い	データなし
--------	-------

7.2 混触危険性を含む安全な保管条件

保管条件	特別な保管条件は必要なし。
------	---------------

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

8. 暴露防止及び人に対する保護措置

8.1 個人用保護衣などの個人保護措置

手の保護	手袋で取り扱うこと。 手袋は、使用前に検査する必要がある。 この製品が皮膚に触れないように、適切な手袋の取り外し方法を使用して(手袋の外面に触れずに)行うこと。 使用後の汚染された手袋は、適用される法律及び GLP(優良試験所基準)に従って廃棄すること。 手を洗って乾かすこと。
眼/顔面の保護	特になし
皮膚及び身体の保護	特になし
呼吸器の保護	特になし

9. 物理的及び化学的性質

9.1 物理的及び化学的性質の情報

性状(物理的状态)	液体
色(溶液)	無色
臭い	データなし
臭いの閾値	データなし
融点/凝固点(軟化温度/範囲)	0°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	100°C。
引火点	データなし
臨界温度	データなし
自動発火温度	データなし
可燃性(個体、気体)	データなし
爆発性	データなし
爆発範囲の上限/可燃上限値	データなし
爆発範囲の下限/可燃下限値	データなし
蒸気圧	データなし
相対蒸気密度	データなし
相対密度	データなし
20°Cでの比重(密度)	データなし
水への溶解度/水との混和性	データなし
n-オクタノール/水分係数	データなし
粘度(粘性率)	データなし
動粘度	データなし
pH 値	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	データなし
化学的安定性	データなし
危険有害反応の可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質/混触禁止物質	データなし
危険有害性のある分解生成物	データなし

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

11. 有害性情報

11.1 有害性情報

急性毒性	暴露経路	急性毒性推定値
	暴露経路:経口 LD ₅₀ * (ラット)	>90000 mg/kg
	暴露経路:経皮 LD ₅₀ * (-)	データなし
	暴露経路:気体 LC ₅₀ * (-)	データなし
	暴露経路:蒸気 LC ₅₀ * (-)	データなし
	暴露経路:粉塵及びミスト LC ₅₀ * (-)	データなし
皮膚腐食性/刺激性	データなし	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	データなし	
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし	
CMR 効果(生殖細胞に対する発がん性、変異原性、毒性)	データなし	
発がん性	データなし	
生殖毒性	データなし	
特定標的臓器毒性(単回暴露)	データなし	
特定標的臓器毒性(反復暴露)	データなし	
吸引力呼吸器有害性(誤嚥の危険性)	データなし	

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

短期的(急性)水生環境有害性	データなし
長期的(慢性)水生環境有害性	データなし

12.2 残留性と分解性

残留性と分解性	データなし
---------	-------

12.3 環境システムにおける挙動

生物蓄積性	データなし
-------	-------

12.4 土壌中の移動性

土壌中の移動性	データなし
---------	-------

12.5 他の生態学的情報

一般的な注意事項	データなし
----------	-------

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品及び残余廃棄物	内容物/容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに業務を委託して処理すること。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。 空容器を廃棄する場合は、水、必要に応じて洗浄剤を使用して内容物を完全に除去すること。

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

14. 輸送上の注意

14.1 国際規制

ADR*, IMO*/IMDG*, ICAO*/IATA DGR*の規定に従うこと。	
国連番号 (UN Number)	危険物として規制されていない。
国連出荷正式名(国連出荷名) (UN Proper Shipping Name)	危険物として規制されていない。
国連分類 (輸送時の危険有害性クラス) (UN Transport Hazard Class)	危険物として規制されていない。
容器等級 (Packing Group)	危険物として規制されていない。
環境への危険性	危険物として規制されていない。
ユーザー向け特別注意事項	危険物として規制されていない。

14.2 国内規制

海上規制情報	船舶安全法の規定に従うこと。
航空規制情報	航空法の規定に従うこと。
陸上規制情報	毒物及び劇物取締法、消防法、高圧ガス保安法、道路法の規定に従うこと。

14.3 MARPOL 73/78* 付属書 II 及び IBC Code*によるバラ積み輸送される液体物質 : 本製品には該当しない。

15. 適用法令

① 化学物質名:水 (Water) (CAS*番号:7732-18-5、濃度:-%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	有害でない物質
悪臭防止法	非該当
土壤汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法)	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

② 化学物質名:トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン (CAS*番号:77-86-1、濃度:—%)

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
労働基準法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
消防法	非該当
高圧ガス保安法	非該当
水銀汚染防止法	非該当
船舶安全法	非該当
航空法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
下水道法	非該当
大気汚染防止法	非該当
海洋汚染防止法	非該当
悪臭防止法	非該当
土壤汚染対策法	非該当
ダイオキシン類対策特別措置法	非該当
オゾン層保護法	非該当
廃掃法 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)	産業廃棄物
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
化学兵器禁止法	非該当
麻薬及び向精神薬取締法	非該当
薬機法	非該当
カルタヘナ法	非該当

16. その他の情報

弊社が販売する試薬類は、試験研究用途向けに限定して販売しております。製品を取り扱う前に取扱説明書等を熟読し、専門知識のある技術者、研究者がご使用ください。記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですが、特別な扱いをする場合には、新たに用途用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。全ての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。

略語

- ・ADR(European Agreement Concerning the International Carriage of Dangerous Goods by Road): 欧州危険物国際道路輸送協定
- ・CAS(Cheical Abstract Service): ケミカル・アブストラクト・サービス
- ・GHS(The Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals): 化学品の分類及び表示に関する世界調和システム
- ・IATA DGR(International Air Transport Association's Dangerous Goods Regulations): 国際航空運送協会危険物規則書
- ・IBC Code(International Code for the Construction and Equipment of Ships Carrying Danderous Chemicals in Bulk): 危険化学品のバラ積み運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則
- ・ICAO(International Civil Aviation Organization): 国際民間航空機関
- ・IMDG Code(International Maritime Code for Dangerous Goods): 国際海上危険物規定で定めたコード
- ・IMO(International Maritime Organization): 国際海事機構
- ・LC₅₀(Median/50% Lethal Concentration): 半数(50%)致死濃度
- ・LD₅₀(Median/50% Lethal Dose): 半数(50%)致死量
- ・MARPOL(International Convention for the Prevention of Pollution from Ships) 73/78: 1973年の船舶による汚染の防止のための国際条約に関する1978の議定書

安全データシート(SDS 番号:SDSTAN0001)
TANBead 核酸抽出試薬キット (Virapid Virus)

引用文献及び参照ホームページ等

- ・化学物質規制・管理実務便覧(化学物質管理実務研究会編集、新日本法規出版株式会社出版)
- ・NITE 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)
https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/srhInput
- ・職場の安全サイト(厚生労働省)
http://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pg/GHS_MSD_FND.aspx
- ・ezCRIC(日本ケミカルデータベース株式会社)

以上